

2015年版 MR 白書

「MRの実態および教育研修の調査」変動調査

回答した内容は統計的に処理し、企業の個別情報（企業名や数値データ）は一切公表しません。

2015年3月 公益財団法人MR認定センター

マルチリターンシステムについて

本調査は回答方法を選べる「マルチリターンシステム」を導入しています。
郵送回答、WEB回答、メール回答のうち、ご都合に合った形式をお選びください。



郵送回答

同封の返信用封筒に調査票を3つ折りにして封緘の上、ご返送をお願いします。
(切手貼付は不要です)



WEB回答

インターネットブラウザにて簡単にご回答ができます。下記サイトより、「WEB調査票」に進んでいただき、そのままご回答ください。
※回答の途中保存はできません。



メール回答

Excelファイルにてご回答ができます。下記サイトより、「Excel版調査票」をダウンロードしてください。回答後は「メール用調査票送信フォーム」より送信ください。
※回答の途中保存ができます。

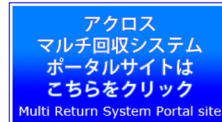
サイトへのアクセス方法

①YAHOO!またはGoogle等の検索エンジンにて「アクロスアンケート」と入力して検索



②検索結果の最上部の「調査・アンケート集計：株式会社アクロス」をクリックしてください。

③サイト右上にある青いボタンをクリックしてください。



④ポータルサイトにてアンケートコード「797430」を入力してください。

アンケートコード(6桁)を入力してください

<http://www.across-net.co.jp/mrs/mr2015> のアドレスからもサイトに入れます。

⑤マルチリターンシステムのサイトが表示されます。

◆調査時点について 2015年3月31日現在とします。

◆調査票の締め切り

お忙しいところ大変お手数ですが、2015年4月24日(金)までにご返送をお願いいたします。

◆お問い合わせ先

公益財団法人MR認定センター

企画部長 行入正彦

TEL 03-3279-2500

FAX 03-3279-2550

本調査票の回答の仕方について

①「郵送による回答」の場合

1. 設問への回答は黒色のボールペンか鉛筆にて、ご記入してください。
2. 設問に「1つだけ○」とある場合は、該当する選択肢番号に1つのみ○を付けてください。
3. 設問に「いくつでも○」とある場合は、該当する選択肢番号に複数○を付けていただいても結構です。
4. 設問に「数値記入」とある場合は、記入枠内に整数にて数値をご記入してください。
5. 設問に「文字記入」とある場合は、記入枠内に具体的な内容をご自由にご記入してください。また選択肢番号内に文字記入枠がある設問もございます。

②「メール回答」および「WEB回答」の場合

◎ご回答準備

1. 表紙の「サイトへのアクセス方法」をご覧ください。
2. 「マルチリターンシステム」のホームページが開きます。
3. 「メール回答」または「WEB回答」のどちらかのボタンをクリックしてください。
4. 「メール回答」の場合は、Excelファイルのダウンロードの画面が表示されます。「WEB回答」の場合は、そのまま調査票の回答画面が表示されます。

◎ご回答方法

1. 設問に「1つだけ○」とある場合は、該当する選択肢番号に1つだけチェックしてください。
2. 設問に「いくつでも○」とある場合は、該当する選択肢番号に複数チェックしていただいても結構です。
4. 設問に「数値記入」とある場合は、記入枠内に半角数値にて数値をご入力してください。
5. 設問に「文字記入」とある場合は、記入枠内に具体的な内容を全角文字にてご入力してください。また選択肢番号内に文字記入枠がある設問もございます。

それではここから本調査項目に入ります。お手数ですがご協力をお願いいたします。

なお調査時点は、2015年3月31日現在とします。

ご回答者様の情報

①企業名			
②企業コード		③教育研修責任者名	

I. MRの概要について

MRとは、企業を代表し、医療用医薬品の適正な使用と普及を目的として、医療関係者に面接の上、医薬品の品質・有効性・安全性などに関する情報の提供・収集・伝達を主な業務として行う者で、訪問する医療機関・エリア・領域などの担当が特定されている者を指します。

Q1. MR数について各項目に人数をご記入ください。〔各数値記入〕

		合計		
		男性		女性
MR数および 認定証取得者数	①MR数 ※1			
	1. 認定証取得者			
	2. 認定証未取得者			
	②MR以外の認定証取得者 ※2			
	③管理者 ※3			
	1. 認定証取得者			
	2. 認定証未取得者			
薬剤師・理科系・文科系別MR数	④薬剤師	1. 修士以上		
		2. 学 士		
	⑤理科系 ※4	1. 修士以上		
		2. 学 士		
	⑥文科系	1. 修士以上		
		2. 学 士		
	⑦看護師			
	⑧その他（短大・高専など）			
⑨不 明				
合 計（①MR数と同人数）				
年代別MR数	⑩20代			
	⑪30代			
	⑫40代			
	⑬50代			
	⑭60代			
	合 計（①MR数と同人数）			

①MR数と同人数となります

※1 「MR数」… 製薬企業はコントラクトMRを除いた人数、CSO企業は所属MR数を記入のこと

※2 「MR以外の認定証取得者」… 教育研修、学術、製品企画、特約店担当、開発担当など

※3 「管理者」… 支店長、部長、所長、課長、グループマネージャーなど

※4 薬学部の卒業であっても薬剤師資格を持たないMRは理科系とする

Q2. MRの製品担当について〔1つだけ〇〕

- 1. 領域で担当している
- 2. 領域の別なく担当している
- 3. 1.と2.と両方混在している

II. MRの雇用について

Q3. 新卒者のMR採用（2015年4月採用）〔1つだけ〇〕

- 1. 採用した
- 2. 採用しなかった

Q4. MRの中途採用をしましたか。（2014年4月～2015年3月採用）〔いくつでも〇〕

- 1. 正社員として中途採用した
- 2. 契約社員として中途採用した
- 3. 中途採用をしなかった

↓ Q4で「1. 正社員として中途採用した」「2. 契約社員として中途採用した」を選んだ方にお聞きします。

Q5. 中途採用者の前職は何でしたか。〔いくつでも〇〕

- 1. 製薬他社のMR
 - 2. コントラクトMR
 - 3. 特約店関係者（MSなど）
 - 4. 医療関係者（薬剤師、看護師、検査技師など）
 - 5. 他業界
- 具体的に

Q6. 定年退職者のMR再雇用（この場合の定年は60歳以下とします）〔1つだけ〇〕

- 1. 再雇用した（嘱託を含む）
- 2. 定年を延長した
- 3. どちらも行っていない

※製薬企業のみ回答してください。（CSO企業は回答不要）

Q7. コントラクトMRの契約について〔1つだけ〇〕

- 1. 契約した
- 2. 契約していない

↓ Q7で「1. 契約した」を選んだ方にお聞きします。

Q8. 契約中（2015年3月31日現在）のコントラクトMR数をお答えください。〔各数値記入〕

①合 計				②派遣型MR ※1				③請負型MR ※2			
			名				名				名

※1 派遣型MRとは、CSOから製薬企業へ派遣され、派遣先企業MRの一員として活動するMRを指します。
※2 請負型MRとは、CSOが製薬企業からプロジェクトを請負い、CSOの監督下で活動するMRを指します。

Ⅲ. MRの継続教育について

継続教育はMR認定証取得レベルの維持だけでなく、MRが医療の進歩や制度改革などに対応して、医療関係者や患者さんの期待に応えられるようになるための生涯教育です。各社の企業理念に基づく「自社MRの目指す姿」を具現化することが到達目標と言えます。

Ⅲ-1. MRへの動機づけ

Q9-①. 自社の企業理念・目指す企業像〔1つだけ〇〕

1. MRに「企業理念」や「目指す企業像」を明示し、浸透している
2. ホームページなどで公開しているが、MRの理解は十分ではない
3. 明示していない

理由を具体的に

Q9-②. 自社の目指すMR像・MR行動規範〔1つだけ〇〕

1. MRに「目指すMR像」や「MR行動規範」を明示し、浸透している
2. 明示しているが、MRの理解は十分ではない
3. 明示していない

理由を具体的に

Q9-③. 自社のMR研修方針・研修計画〔1つだけ〇〕

1. 年度初めに、継続教育の中で明示し、理解されている
2. 明示しているが、MRの理解は十分ではない
3. 明示していない

理由を具体的に

Ⅲ-2. 継続教育の実施状況

Q10-①. 集合研修〔1つだけ〇〕

1. 毎月1回以上
2. 隔月
3. 四半期に1回
4. 年1回
5. その他

具体的に

Q10-②. 衛星放送、TV会議、e-ラーニング（同時双方向）など〔1つだけ〇〕

1. 毎月1回以上
2. 隔月
3. 四半期に1回
4. 必要に応じて随時
5. その他

具体的に

Q10-③. 集合研修の組織単位別の実施割合（構成比）はどのくらいですか。〔各数値記入〕

組織単位	実施割合（構成比）			
1. チーム・課				%
2. 出張所				%
3. 営業所				%
4. 支店				%
5. 全社				%
6. その他 <input type="text" value="具体的に"/>				%
合 計	1	0	0	%

※合計が100%となるように、おおよその実施割合（構成比）をご記入ください。

Q10-④. MRの出席率 〔1つだけ〇〕

1. 100%（補講と併せて） 2. 約95%～99% 3. 約90%～95%
 4. 約85%～90% 5. 85%以下

Q10-⑤. 研修実施状況の把握 〔1つだけ〇〕

1. 自社の研修管理システムでリアルタイムに集計し、データ保存している
 2. 毎月、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している
 3. 半年毎、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している
 4. 年1回、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している
 5. その他

Q10-⑥. MRが研修履歴を確認する方法 〔いくつでも〇〕

1. PC画面（研修管理システム）でMRが自ら確認できる
 2. MR認定センターの※Nikoサービスを利用して確認している
 3. マネージャーからMRへ定期的（毎月・四半期）にフィードバックしている
 4. 教育研修管理者に問合せがあれば回答している
 5. その他

※Nikoサービス（MR認定証の更新条件確認メールサービス）

MRさん本人が登録することにより、好きな時に更新条件（教育履歴）をメールで確認できるようになります。
 登録はセンターホームページより。

Q10-⑦. 欠席者の補講 [いくつでも〇]

1. 対象者を集合させて行っている（別の課の研修等への参加を含む）
2. 対象者に個別指導を行っている（講義、ビデオ、レポート、テストなど）
3. 対象者にe-ラーニングを行い、修了の確認をしている
4. 補講をしていない

S Q. 補講をしていない理由は何ですか。 [いくつでも〇]

1. 時間が取れない
2. 人手が不足している
3. その他

具体的に

Q10-⑧. 継続教育で使用した教材 [いくつでも〇]

1. 自社作成の教材（各種）
2. 公正競争規約（解説書、公取協ニュース、Q & Aなど）
3. 添付文書、インタビューフォーム
4. 市販後調査業務手順書
5. MR研修テキストⅡⅢ
6. 医療・医薬品業界の一般知識
7. 診療ガイドライン（各種）
8. MR認定センター主催の各セミナーの資料
9. 論文集「私が目指すMR」（MR認定センター）
10. MR認定試験問題集（市販品）
11. 今日の治療指針（医学書院）
12. 今日の治療薬（南江堂）
13. MR漢方教本ⅠⅡ（日漢協）
14. 学会抄録集（各種）
15. テレビ番組の紹介（NHKスペシャル、今日の健康など）
16. 製薬協コード・オブ・プラクティス
17. その他

具体的に

Q10-⑨. 実施した技能・実地研修 [いくつでも〇]

1. 面談スキル（ロールプレイングなど）
2. プレゼンテーションスキル（製品説明会の予演など）
3. コミュニケーションスキル（コーチングなど）
4. 同行（上司、先輩など）
5. ケーススタディ（事例発表会、ダイアログなど）
6. 情報活用スキル（ITの操作など）
7. 医療機関での現場実習（病棟、薬剤部など）
8. 介護体験（在宅、介護施設など）
9. 地域福祉・ボランティア活動
10. 救命講習会（AED、人工呼吸など）
11. その他

具体的に

Q10-⑩. 研修の成果を確認するために現在取り組んでいるもの、今後取り組みたいものを、それぞれお答えください。〔各いくつでも〇〕

	で現在 取り組 みの組 ん	た今 後取 り組 み
1. MRの事後アンケート（研修内容、講師、教材、手法など）を行う	1	1
2. MRの日報・事例レポートの内容をチェックし、研修でフィードバックする	2	2
3. 月次研修における知識習得度テスト（研修の前後）を行う	3	3
4. 年1回以上の社内一斉テストを実施する	4	4
5. e-ラーニングの修了記録を確認する	5	5
6. ロールプレイングでレベル評価する	6	6
7. プレゼンテーション（説明会の予演など）でレベル評価する	7	7
8. マネージャーのMR同行レポートから成功事例（成果）を収集・共有する	8	8
9. 研修成果についてマネージャーへ定期的なアンケート調査を行う	9	9
10. 自社MRの情報活動について医師・薬剤師・MSへモニター調査を行う	10	10
11. その他 <input type="text" value="具体的に"/>	11	11

Q10-⑪. 無事故・無違反、安全運転研修への取組状況 〔1つだけ〇〕

1. 新入社員に、導入研修の中で実施している
2. 新入社員に、研修部門ではなく他部門が実施している
3. 新人やベテランの別なく、必要に応じて（違反者など）実施している
4. 会社として特に実施していない

「1」～「3」を選んだ方にお聞きします。

効果のあった対策があれば具体的に教えてください。

Ⅲ - 3. 継続教育の課題と対策

Q11-①. 継続教育の課題について 〔いくつでも〇〕

1. 自ら考え、学習するMRを増やしたい
2. 一方的な講義だけでなくインタラクティブな研修を増やしたい
3. トレーナーを増員して密度の濃いトレーニングをしたい
4. 若手トレーナーの能力アップを図る施策や時間が足りない
5. ベテラントレーナーのモチベーション維持や研修手法が独善的で苦労している
6. 研修成果の検証方法に苦慮している
7. 営業活動が優先してしまい、研修時間の確保に苦労している
8. 実績アップに即効かつ直結する研修が期待され苦慮している
9. マネージャーの教育研修に対する意識が低い
10. トップの教育研修に対する理解が足りない

11. その他

Q11-②. 継続教育を充実させるために現在取り組んでいるもの、今後取り組みたいものを、それぞれお答えください。〔各いくつでも〇〕

	で現在取り組んでいるもの	た今後取り組みたいもの
1. 一方的な講義に偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる	1	1
2. MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する	2	2
3. MRの考える力を高めるためにダイアログを取り入れる	3	3
4. 医療現場のニーズに対応できるプログラムを立案する	4	4
5. 患者さんの立場にたった情報活動ができるよう研修内容を工夫する	5	5
6. 医療関係者との信頼関係が築けるよう面談スキル研修を強化する	6	6
7. 「自社の目指すMR像」または「自社MRの行動規範」を策定する	7	7
8. 研修ごとに到達目標を明確に設定する	8	8
9. 一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う	9	9
10. 自社製品に関連する「診療ガイドライン」を使いこなせるようにする	10	10
11. 医学の高度化・専門化に対応できるような研修を導入する	11	11
12. 向上意欲に応えるために上級MR・社内認定制度を導入する	12	12
13. 自学自習を習慣づけるためにeラーニングシステムを充実させる	13	13
14. 研修に対するトップやマネージャーの理解が得られる工夫を図る	14	14
15. 若手・ベテランを問わず、トレーナーを社外セミナーに参加させる	15	15
16. トレーナー全員が「MR継続教育ガイドライン」により、最新の教育理論と具体的な研修手法の共有化を図る	16	16
17. その他 <input type="text" value="具体的に"/>	17	17

Ⅲ-4. MR継続教育ガイドライン(MR教育研修要綱解説書記載、センターHPに掲載)

Q12-①. 今後、どの様に活用しますか。〔文字記入〕

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>

Q12-②. MR継続教育ガイドラインについての意見・提言・要望 〔文字記入〕

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>

IV. 教育研修担当者の資質向上について

センター策定の「MR教育研修制度及びMR認定制度の抜本改革報告書」には「教育研修担当者の資質向上」が含まれています。具体案の作成にあたり参考にしたいと思いますので下記の設問に回答してください。

IV-1. 教育研修担当者の概要

Q13-①. 教育研修担当者数〔各数値記入〕

①合 計	②教育研修専従者 ※1 (トレーナー)				③MR研修兼任担当者 ※2			
	名	名	名	名	名	名	名	名

※1 教育研修専従者とは、導入・継続教育の企画・推進・講師などMRの能力開発・教育研修を主たる業務としている者とします。

※2 MR研修兼任担当者とは、学術・製品(PM)・PMS・販促企画などの業務に加え、MRの教育研修も担当している者とします。

Q13-②. 教育研修専従者(トレーナー)数の変化〔1つだけ○〕

1. 前年度に比べて増えた

増えた理由

2. 前年度に比べて減った

減った理由

3. どちらとも言えない

Q13-③. 教育研修専従者(トレーナー)の数〔1つだけ○〕

1. 十分

2. 平均的

3. 不足

4. 不明

Q13-④. 教育研修専従者(トレーナー)の資質〔1つだけ○〕

1. 十分

2. 平均的

3. 不足

4. 不明

Q13-⑤. 教育研修専従者(トレーナー)の業務分担〔1つだけ○〕

1. 導入研修と継続研修の担当を分けている

2. 導入研修と継続研修の担当を分けていない

3. 一応分けているが、科目により両方行う者もいる

4. その他

具体的に

Q13-⑥. 教育研修専従者（トレーナー）の配置〔1つだけ〇〕

1. 本部に全員を配置し、必要に応じて出向している
2. 本部と支店に分散して配置（駐在）している
3. 支店に配置（駐在）している
4. その他

Q13-⑦. 教育研修専従者（トレーナー）の自己研鑽〔いくつでも〇〕

1. 学会・研究会
2. MR認定センターが行う研修会・セミナー
3. 団体（東薬工、大薬協など）が行う研修会・セミナー
4. 業者が主催する各種セミナー
5. 医療機関・介護施設での実習（病棟業務、調剤業務、介護など）
6. その他

Q13-⑧. 教育研修専従者（トレーナー）の教育と実施頻度〔各数値記入〕

教育方法	1年間の平均回数			
1. 本社に集合				回
2. 支店・営業所に集合				回
3. 衛星放送（CS）				回
4. テレビ会議				回
5. 自己学習（教材）				回
6. 自己学習（e-ラーニング）				回
7. その他 <input style="width: 300px; height: 20px;" type="text" value="具体的に"/>				回

Ⅳ-2. IT機器（PC・タブレット・スマートフォン）について

Q14. PCに替わる情報機器としてタブレット型端末やスマートフォンに1本化し、PCを全く持たなくなる可能性はありますか。〔1つだけ〇〕

1. そうすることが決まっている
2. 将来そうすることを検討中
3. 全くその予定はない
4. 不明

Ⅳ－３．課題と対策

Q15－①．教育研修担当者（専従者・兼任者）の資質向上にあたり、最も解決したい課題を1つ挙げて、その対策について具体的に記述してください。〔文字記入〕

1. 最重要課題	
2. その対策	

Q15－②．その課題を解決するためにセンターに期待することは何ですか。〔文字記入〕

--

質問は以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に調査票を3つ折りにして封緘の上、ご返送をお願いします。